

中長期ロードマップ



(単位)	2013年度実績	2014年度実績	2015年度実績	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画	2025年度目標
売上高	百万円 75,491	83,379	88,117	94,012	115,700	115,665	100,717	106,723	142,199	159,457	134,425	148,000	180,000
営業利益	百万円 7,883	8,363	8,107	9,580	12,472	5,429	5,230	7,698	17,879	21,170	13,113	17,500	25,000
営業利益率	% 10.4	10.0	9.2	10.2	10.8	4.7	5.2	7.2	12.6	13.3	9.8	11.8	13.9
ROE	% 10.1	9.8	8.3	10.1	12.1	6.0	4.5	5.9	12.1	12.9	6.7	-	10~13

創立
100周年と
その先へ

中期経営計画

2023年度は市況の影響もあり減収減益となりましたが、当社新中期経営計画「Exciting CKD 2025」の2年目として、収益体制の改善と基盤強化に取り組みました。今後も引き続き成長への投資やESGの取り組みを着実に推進していきます。

中期経営計画(2022年度～2025年度 4か年計画)

「Exciting CKD 2025」

事業を通じて社会に貢献し、新たな価値を創出することでお客さまにワクワクしていただく
そして、10年VISIONを達成させ、心躍らせながら次の10年につなげる



経営目標

売上高 1,800 億円	KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画	2025年度目標
ROE 10%~13%	売上高	1,595億円	1,344億円	1,480億円	1,800億円
配当性向 40%を目安	営業利益	212億円	131億円	175億円	250億円
	ROE	12.9%	6.7%	-	10.0%~13.0%
	配当政策	配当性向 40.1%	配当性向 40%	配当性向 40%	配当性向 40%を目安
	自己株買い	-	-	-	機動的な自己株買いを検討

重点取り組みテーマと進捗状況

1. 収益・事業戦略モデルの進化

注力する産業 半導体

半導体市場は、生成AIやEV・自動運転分野の発展を成長ドライバーに、2030年には世界市場が1兆ドルに拡大すると言われており、今後も高い成長率が見込まれています。

そのような中、BCP対応を考慮したグローバルフォロー体制の強化に向け、生産拠点を積極的に拡大し、拡大する半導体需要に対応できる供給体制を構築しています。また、各拠点にテクニカルセンターを設け、次世代の最先端プロセスにおける技術課題への解決に向けた商品開発も促進し、半導体業界でのさらなる存在感の向上を目指しています。

注力する産業 電池

世界のEV生産台数は今後も年20%台の成長を継続するとされており、二次電池市場は2035年には26兆円の市場に成長すると予測されています。ますます需要が拡大していく二次電池の製造工程向けに、自動機械部門では、超高速巻回機を供給することでお客様の生産性向上に貢献していきます。

機器部門では、100機種を超える二次電池製造工程向けの商品群で、長寿命で設備の安定稼働に貢献するなど、これからもお客様の製造ニーズに応えてまいります。

注力する事業 新商品・新事業

DXを活用したサービスビジネスとして、専門知識がなくても、パソコンだけで誰でも簡単に、様々な機器を自在に制御できるプログラミングツール「ExiaStudio」を発売しました。「ハードとソフト」の融合でお客様のお役に立てる新サービスを積極的に創出べく取り組みを強化しています。また、助力装置 PAWは、シニアや女性も安全で動きやすい職場環境づくりに貢献する製品としてご使用いただいておりますが、この度新たなシリーズを追加発売しました。幅広いラインアップで作業性の改善や労働災害の予防に貢献いたします。

半導体産業では、年々進む製造プロセスの微細化に伴い、製造装置や部品に対する精度の要求レベルも上昇しており、先端プロセスへの技術対応ニーズに対し、当社の精密制御で対応してまいります。

妥協のないお客様のニーズこそ成長のチャンスととらえ、より高精度かつ高性能な機器商品の開発に取り組んでいます。

注力する地域 海外市場

海外では、半導体や電池をはじめとする成長性の高い市場やASEANやインドにおける機器商品の需要拡大が見込める地域において、お客様の期待に応える提案をし、新たな基盤を最大限に活用しながら新規案件の獲得につなげ事業の拡大を図ります。



2. 経営効率の向上

成長への投資

営業活動により創出された資金を、持続的な成長に必要な投資として確保し、成長投資と基盤強化に活用しています。2023年度は北陸工場、2024年度にはインド工場を竣工し、東北第2工場やマレーシア工場の立ち上げを進めています。今後も、中長期的な成長と企業価値向上を考え、将来に向けた事業基盤を築くための投資を進めていきます。

	重点領域
成長投資	国内投資: 半導体、電池、電動事業 海外投資: 欧米、ASEAN、インド
戦略投資	事業拡大に向けたアライアンス・M&A、 新事業、事業構造転換
基盤強化	開発力の強化、次世代・デジタル・グローバル人材
・人的投資	ビジネスモデルの変革、国内外の基幹システム強化、
・DX投資	セキュリティ強化
・環境投資	太陽光発電設備、コージェネレーション設備、省エネ機器の導入、カーボンオフセット
・生産性向上投資	最新の設備に更新し生産性向上

3. 経営基盤の強化

環境課題への取り組み

環境負荷低減型商品として、自動機械事業では、PTP薬品包装機においてバイオマスプラスチックを使用した包装機の開発やPTPシート生産時のプラスチック使用量の削減に取り組んでいます。

機器事業では、業界初のIO-Link Wireless対応電磁弁「TVGシリーズ」を発売しました。シール設計、材料など細部まで徹底改善し、長期使用でもエア漏れが少ない「省エネ作動」を実現するとともに、再生材樹脂を使用するなど、当社の環境配慮へのこだわりが集結したプラグインバルブです。省エネ、省資源に加えて、ライフサイクルの視点を考慮し、長寿命製品で「止まらない生産設備」と「安定稼働の実現」に貢献してまいります。

全社として、カーボンニュートラル社会の実現に向け、2030年度までにCO₂排出量を50%削減、2050年度までにCO₂排出量実質ゼロを中長期的目標と設定し、徹底した省エネルギー改善の推進に取り組んでいます。



セグメント概要

当社は自動化技術と流体制御技術を基盤に技術革新を続け、現在では「自動機械装置」と「機器商品」の2つを軸に事業を展開しています。

この両方を手掛ける会社は、世界的に見ても多くありません。装置と機器、どちらも手がけていることはCKDの強みです。

	売上高比率 (2024年3月期)	セグメント	売上高 (単位：億円)	売上高比率 (2024年3月期)	主要商品	
自動機械事業	売上高 177 億円 売上高比率 13%	包装機械	2023年3月期: 103 2024年3月期: 109	売上高比率 8%	薬品包装機：薬品包装工程を自動化する最新鋭の機械を幅広くラインアップし、国内トップシェアを誇ります。 食品包装機：シール性、安全性、衛生性、操作性の高さはもちろん、上蓋、容器フィルムなどの包装資源のムダを最小限に抑え、省資源にもお応えします。 薬品包装機エコプリスタ FBP-600E4/E4S 食品用包装機エコプリスタ CFF-360E	
						自動機械装置の保守・メンテナンスを専門に行う「CKDフィールドエンジニアリング株式会社」が、安心・安全な運用をサポート。 
		産業機械	2023年3月期: 53 2024年3月期: 68	売上高比率 5%	独自の三次元検査技術と、業界トップレベルの高速検査で、クリームはんだの体積と高さを正確に計測し、小型化・高密度が進むプリント基板の不良率低減に貢献します。 三次元はんだ印刷検査機 VP9000	
					永年培ったサーボコントロール技術と、自社技術である空気圧機器とカム技術の融合により電池の品質と安全を約束します。 リチウムイオン電池用巻回機	
			流体制御機器 (一般産業向け)	2023年3月期: 759 2024年3月期: 618	売上高比率 46%	高品質&ワイドバリエーションをコンセプトに、各種バルブ類から集塵機用制御システムや水処理システムなどの環境機器まで、幅広く商品を展開しています。 ウェア形ダイヤフラムバルブ 医療分析用バルブ 直動式2・3ポートバルブ 自動散水用電磁弁
						半導体・FPD製造装置の供給系から排気系までを網羅したバリエーションによって、最先端プロセス制御を実現。クリーンな環境で使用できるファインシステム機器が電子デバイス産業を支えています。 薬液用バルブ 真空機器 プロセスガス制御機器
機器事業	売上高 1,168 億円 売上高比率 87%	空気圧機器	2023年3月期: 680 2024年3月期: 550	売上高比率 41%	広範囲な産業界のニーズに対応した自動化システムを開発し、環境対策・省エネルギーを意識した空気圧利用技術を提案しています。 プラグインブロック マニホールド 空気圧シリンダ 窒素ガス精製ユニット F.R.L.ユニット 助力装置	
					電動機器の需要の高まりを受け、従来の空気圧機器と電動機器のベストミックスで、多様化するニーズへの対応を進めています。 (CKD日機電装株式会社) ダイレクトドライブモータ 電動アクチュエータ	

事業別戦略

自動機械事業

環境対応や省人化など市場ニーズに応える
自動化ソリューションで豊かな社会と未来に貢献します。

人手不足による自動化と生産性向上ニーズのさらなる高まり、環境負荷低減に対する社会の高い関心に対し、お客様の声を自動化技術を通じて形にし、豊かな社会と未来に貢献していきます。

主力の包装機械、産業機械のいずれにおいても、技術開発を加速させ、高品質で生産性の高い自動機械設備と、質の高いサービスのご提供でお客様の困りごとを解決いたします。この動きを一層促進し、私たち自身が常に革新に挑戦し、お客様のご期待にお応えし続けてまいります。

執行役員
自動機械事業本部
副本部長
北洞 義明



事業ビジョン

10年VISIONとして「私たちは革新に挑み、自動化技術をあらゆる手段で進化させ、世界中のお客様に満足いただける自動機械を提供し続ける組織となります」を掲げています。お客様の声を真摯にお聴きし、潜在化しているご要望を顕在化させ、すべての自動機械装置に取り入れることで競争優位性を構築し、安全安心で高品質な商品をご提供し続けていきます。

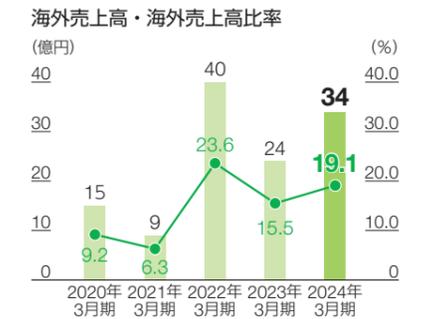
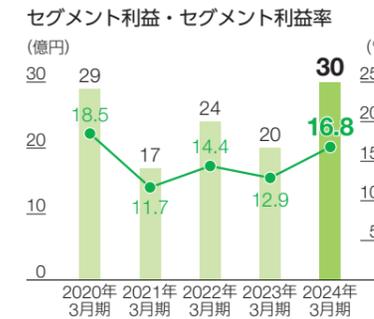
包装機械分野では、①環境に優しい包材に対応する技術革

新、②遠隔対応や画像処理技術を連携させた生産性向上につながるサービスの向上に取り組めます。

産業機械分野では、①カーボンニュートラルに貢献するリチウムイオン電池用巻回機の技術開発とサプライチェーン強化による生産能力の増強、②三次元はんだ印刷検査機のグローバル展開、③省人化・自動化を実現する画像処理装置の拡販を推進しています。

目標/KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標
売上高	170億円	177億円	190億円

事業を通じて提供する価値	
自動包装システム	長期的な医薬品安定供給実現のための包装システムの提供と、包材スクラップ量削減や食品ロングライフ化対応による環境に優しい包装技術で社会貢献
インライン薬品検査システム	安全・安心な商品提供、検査工程の自動化・省人化、錠剤・PTPシートの品質確保に貢献
三次元はんだ印刷検査機	プリント基板実装工程の品質保証・生産性向上に貢献
リチウムイオン電池用巻回機	HEV・BEVの普及、カーボンニュートラルに貢献



2023年度の報告

2023年度は、産業機械のリチウムイオン電池製造システム及び三次元はんだ印刷検査機の売上高が増加しました。収益改善活動の効果もあり、自動機械事業全体でも売上、利益ともに前年度を上回りました。また、受注高では産業機械分野の伸びにより前年度を上回る結果となりました。



今後の見通し及び課題

包装機械分野では、国内医薬品市場の成長鈍化によるビジネス環境の変化に伴い、環境対応や生産性向上のニーズがより高まっています。このニーズにお応えするため、環境負荷低減型商品開発への取り組みを促進し、プラスチックゴムの削減、包材のモノマテリアル化など環境に優しい包装技術を提案してまいります。食品包装においてはフードロス削減などサーキュラーエコノミーの実現に取り組めます。また、自動化、省人化、遠隔サポートのソリューション提案で設備を最大限活用していただけるよう、サービス体制を充実させてまいります。

産業機械分野では、世界のモビリティ市場において、電動化に伴う投資が加速しています。当社は高速、高精度なリチウムイオン電池用巻回機の生産体制を強化して、お客様の生

産性向上と生産能力拡大に貢献するとともに、急激な変化に対応していきます。

包装機械分野では、社会課題である医薬品の安定供給に向けた製薬会社の旺盛な投資に対し、スピーディーな対応を図ることで売上高を伸ばすことができました。また、安定した設備稼働と生産性向上にお応えするサービス体制の強化が売上に貢献しました。

産業機械分野では、三次元はんだ印刷検査機は生産体制の効率化と代理店との連携強化により販売台数は堅調に推移しました。リチウムイオン電池用巻回機では、車の電動化による需要増から売上高が増加しております。

あらゆる商品・サービスを安全、品質、生産性のすべてにおいて、お客様に評価していただけるビジネスへと成長させていきます。

検査装置分野では、三次元はんだ印刷検査機のエリア別販売方策を計画的に実行し、市場に最適な設備をご提供できる販売、生産体制を構築してまいります。



事業別戦略

機器事業

お客様と共創し、社会課題ソリューションを提案します。

次世代半導体パッケージ、カーボンニュートラル、新エネルギーなど新たな市場に向けた事業拡大を行うとともに、生産の自動化/高度化/省エネ化を目指していきます。

また、海外事業拡大に向けた基盤強化や販売ネットワークを拡大し、2025年度売上高1,650億円を達成してまいります。

既存工場に加え、新工場の北陸工場、米国オースティン工場、インド工場、マレーシア工場をフル活用し、グローバル生産対応で顧客ニーズにレスポンス良く追従してまいります。

常務執行役員
コーポレート役員
機器事業本部長
新寺 勝弘



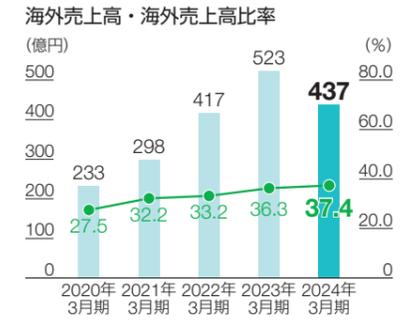
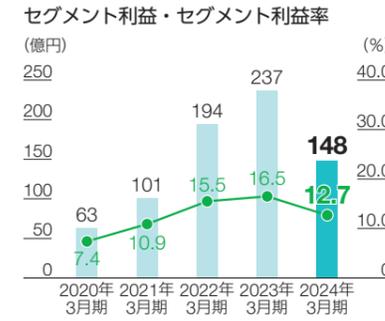
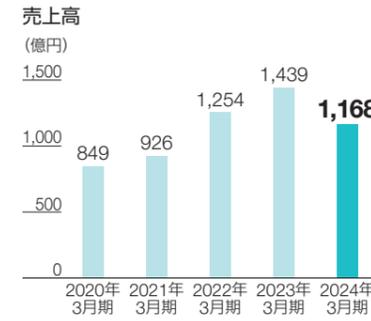
事業ビジョン

グローバル市場で貢献できるサプライヤーを目指し、高品質/高精度、小型/高速/高微細化、安全/環境/デジタル化など、多様化するお客様の要望やお困り事に応じた豊富な商品ラインアップを揃え、新たな価値・創造性を提案してまいります。

常に技術革新に挑戦し続け、商品開発・提案・サービスを行い、世界中のお客様のニーズに応えることができる事業体制を構築してまいります。

目標/KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標
	前年度比 売上 10%アップ	前年度比 売上 9%ダウン	前年度比 売上 10%以上アップ
電動事業の拡販			
海外売上比率の拡大	37%以上	37.4%	38%以上

事業を通じて提供する価値	
流体制御機器	高品質&ワイドバリエーションをコンセプトに多岐にわたる流体制御技術を駆使し、半導体、モビリティ、医薬、食品、水処理、ガス燃焼など幅広い産業で、お客様に寄り添い付加価値を創出。また、新エネルギーを見据えたガス制御など新たな技術も進めています。
ファインシステム機器	最先端の半導体プロセスに対応した薬液用機器や高真空・特殊ガス用機器など幅広い製品を展開。社会におけるDXや自動化に伴う半導体需要のさらなる拡大を支え、人々の豊かな暮らしづくりに貢献します。
空気圧機器	エアシリンダやハンド、エアオペレート弁の駆動用に、空気の調質、調圧、切換、流量制御など空気の流れをコントロールする制御機器を多岐にわたリラインアップ。通信対応と自動化技術と併せCO ₂ 排出量削減など環境対応に貢献する長寿命機器を拡充し、省エネルギー・環境対応に向けた空気圧利用技術を提案します。
駆動機器 電動機器	空気圧・電動・ソフト、そしてそれらを組み合わせたハイブリッドのトータルソリューションでカーボンニュートラル対応や厳しい使用環境での耐久性、μレベルの高精度化など多様化する駆動機器へのニーズに対応します。製造業を含めあらゆる場面での労働負荷を低減するヒューマンアシスト商品も拡大し、動きやすい職場作りにも貢献します。



2023年度の報告

2023年度は、製造業の自動化や省人化需要に対応することができましたが、グローバルにおける在庫調整などで半導体設備投資の抑制が長期化し、受注・売上ともに厳しい年となりました。その中で動きのあったのがモビリティ分野です。2023年度はグローバルでもEVへの投資がメインとなり、ガソリン車への投資はゼロに近い状況となっています。お客様の設備もカーボンニュートラル意識が高まっており、CKDの貢献製品「HPシリーズ」「窒素ガス精製ユニット」「パルスグローバルバルブ」「パワフルアーム」「ASU」などの採用が増えています。海外では旺盛な中国国内の半導体需要や一部の先端メモリ品向け設備投資需要に支えられ底堅い結果となりました。

将来に向けた設備投資では、北陸工場やインド工場など新たな生産基盤の構築を進めています。営業の基盤構築では、MAやSFAなどによる情報収集や情報の共有化で、お客様への効率的なアプローチ・提案を進めてまいりました。ショールームもリニューアルし、動画やデモ機を体験していただき、来場された方々とのコミュニケーションを深め、新たな

イノベーションが生まれることを目指しています。新商品では、業界初となるIO-Link Wirelessを搭載したプラグインバルブ、AI機能で対応幅を広げた画像処理AIツールFacilea AIを発売し、作業性改善や労働災害の予防に寄与できる助力装置シリーズを拡大しました。

また、80周年を迎えCKD技術展を開催しました。当社が培ってきた自動化と流体制御を支える多彩な技術と異彩を放つ技術を多くのお客様、パートナー様へ紹介することができました。CKDの技術でお客様の困り事を解決できるよう、引き続き多彩な技術を組み合わせたソリューションを提供してまいります。



パイロット式
3・5ポート弁
プラグインブロック
マニホールド
「TVGシリーズ」
<2024年度グッド
デザイン賞受賞>



助力装置コンパクトアーム
「CAWシリーズ」

今後の見通し及び課題

半導体需要においては、長らく低迷していたメモリー市場に回復の兆しが見えはじめてきています。その原動力となっているのは、HBM(High Bandwidth Memory：高帯域幅メモリー)の急激な需要増加です。HBMは、Chat GPTを代表とした生成AIに必要な不可欠なメモリーであり、今後さらに急激な需要が見込まれます。当社においても最先端プロセス開発を進めるとともに、半導体装置への標準採用機種を増やし、北陸工場やマレーシア工場でフル稼働できる体制を構築して対応してまいります。

一方で、社会的な課題として有機フッ素化合物(PFAS)対応や樹脂材料の削減、業界全体での樹脂リサイクル化など環境対

応が強く求められています。また、カーボンニュートラルの実現に向けた水素などの新エネルギー市場への対応、工場で使用エネルギーの見える化や省エネ化が求められています。

環境提案を発信していくとともに、自動化技術の探究と共創を続け、健やかな地球環境と豊かな未来を拓けるように活動してまいります。



予防安全ユニット



水素ガス燃焼
対応機器
「H2シリーズ」

DX戦略

DXビジョン ハードとソフトを融合し、人の知恵で
お客様や社会の課題を解決する新たな価値を創出する



Purposeに基づいて探究する「自動化技術」の1つとしてデジタル技術の重要性は今後益々高まると考え、DXビジョンを掲げています。デジタル技術全般を活用したソフトウェア開発に力を入れ、CKDが得意とする自動機械装置や機器といったハードウェアとあわせてシステム提供することにより、お客様や社会の課題を解決する自動化技術のソリューションの実現に取り組んでいきます。従来のハード単体の「モノ売り」から、お客様や社会の課題を解決するソリューションの「コト売り」への変革、さらには、ソリューションを継続的なサービスとして提供するリカーリングモデルの実現を目指しています。

目標

DXビジョンの実現に向けて、中期経営計画としては、「顧客価値の創出」としてFA業界のお客様が求める、早く、安く、簡単に、自動化や見える化を実現し、止まらない生産を実現するソリューション開発を進めていきます。また、「社会課題の解決」としては、環境問題に貢献するソリューションや中小企業を含めた企業のDX推進に貢献するソリューション、労働人口減に悩む一次産業の課題を解決するソリューション開発に取り組めます。

業務におけるDXの取り組み

オペレーショナル・エクセレンスの実現を目指し、デジタル技術を活用し、生産性向上、QCDSの向上、カスタマー・エクスペリエンス(CX)の向上に取り組んでいます。全社的なペーパーレス化に加え、RPAやワークフロー製品を活用した業務の自動化を進めるとともに、国内外の新工場竣工に合わせ、業務を効率化するためのシステム導入を実施しています。SAPにはERPとして、受注、生産、購買データが集約されており、それらのデータを活用するためのシステムを整

2023年度の進捗

画像処理AIツール

Facilea AI(ファシリア エーアイ)開発

2020年に画像処理ビジュアルプログラミングツールFacileaを発売以来、多くのお客様にご愛顧いただいております。生産設備における自動化・半自動化に使用されています。今後予想される働き手不足による自動化の加速に伴い、AI機能を搭載したFacilea AIを開発・販売開始しました。高度な技術が必要な画像処理AIを簡単な操作だけで設定・利用が可能で、ルールベースでは困難な異常を検出可能です。



備して、経営層から生産現場まで、データに基づいて意思決定を行うデータドリブン経営に取り組んでいます。

営業部門では、デジタルマーケティングやSFAを活用して、営業の生産性向上に取り組んでおり、お客様の声を技術や生産部門へ共有し、お客様の期待に応える取り組みをはじめました。また、お客様のご要望も変化していますので、ウェブサイトのコンテンツを極力わかりやすくし、お客様が求めているものに答えられるように充実を図っています。

事業におけるDXの取り組み ソフトウェアの拡充

ソフトウェアとハードウェアを組み合わせたお客様の生産性向上と社会の課題を解決するソリューションビジネスに取り組んでいます。

デバイスプログラミングツール ExiaStudio

PCを活用し複数の電動製品やその他機器製品をつなげて簡単に制御・データ収集システムを構築することができる商品です。従来の制御システムに比べ、配線材・電装機器を大幅に削減することができ、省スペース化・コスト削減、さらには環境にも配慮した設備を構築することが可能です。



生産支援システム Rinops(リノップス)

生産現場の中でも人作業の効率化を追求したDXプラットフォームが生産支援システムRinops。工場のモノや情報をつなげることでウェアラブルデバイスを使い最適な作業指示、作業者間の最適連携をリアルタイムに実現することができます。



LTE対応 リモートコントローラ

当社が持つ電磁弁やセンサなど機器制御のノウハウとIoT・クラウドの新しいテクノロジーを組み合わせることにより、農業分野・水産養殖分野に「手軽」な遠隔自動制御を提供します。

スマートフォンで操作可能なスケジュール機能やセンサ監視機能による自動運転、作業記録の蓄積、異常時のメール通知機能を備え、労働力不足や作業負担の解決に寄与します。



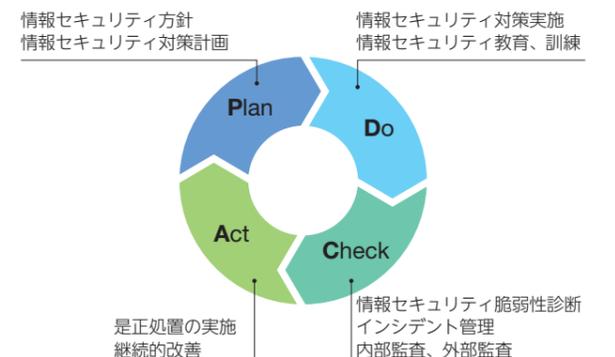
情報セキュリティ

DXの推進と併せて、情報セキュリティ強化に取り組んでいます。情報セキュリティに適用される法令、諸規制及びガイドラインを関連諸要領に明文化し、全社員への教育・訓練と内部監査を実施しています。サイバー攻撃は特に重大なリスクであると認識しており、サイバー攻撃リスクを低減するため、最新のセキュリティ機器及びソフトウェアを導入するとともに、外部のセキュリティ専門組織による監視体制を構築しています。また、高度化するサイバー攻撃リスクに対する社員の意識付けを狙いとした、標的型攻撃メール訓練や情報セキュリティ教育を定期的実施しています。これらに加え、システムの脆弱性診断を第三者機関へ委託し、サイバー攻撃のリスク低減に努めています。

情報セキュリティ強化のために「情報セキュリティ推進委員会」を定期的に開催し、外部の脅威動向と全社の活動状況、課題点を把握し、必要な施策を継続的に実施しています。

情報セキュリティマネジメントサイクル

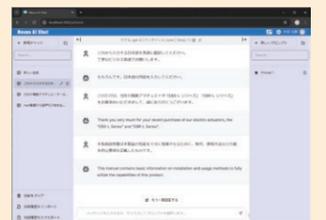
情報セキュリティマネジメントサイクル



TOPICS

生成AIの活用

2023年度から、生成AIの業務活用を検討するための「生成AI検討タスク」を発足しました。このタスクは、各事業部やスタッフ部門から選出された代表者によって構成され、生成AIを社内のあらゆるシーンで活用するためのユースケースを洗い出し、その導入効果を算出、実際の利用を想定したテンプレート作成までを行い、業務プロセスの効率化や新たな価値創造を目指し、生成AIの適用可能性を詳細に検討しました。その活動結果を元に、社内向け生成AI「Nexus AI Chat」を開発しました。今後全社に展開していくことで、当社の競争力強化と業務改善を見込んでいます。



特集 グローバル展開

1 | 現在と今後の見通し

グローバル化を加速し、海外販売を拡大

成長する地域・市場へ経営資源を集中させ、海外販売の拡大を目指します。

自動機械事業では、ハイブリッドを含む電気自動車の普及拡大に伴い、北米を中心にリチウムイオン電池製造システムの需要が増加しています。また、世界的な電子部品やデバイスといったIT関連材の生産増を背景に、三次元はんだ印刷検査機需要も増加しています。市場の拡大を見据え、さらなる生産性の向上に取り組んでまいります。

機器事業では、2019年に稼働した東北工場及び2024年度より稼働を開始する北陸工場を活用し、高機能製品の世界に向けた展開を一段と強化していきます。米国では、テクニカルセンターの機能強化により、お客様に密着した商品企画と開発を進めるとともに、生産拠点である米国オースティン工場によって、現地ニーズに対応してまいります。欧州市場では、オランダに在庫センターを設置し、イタリアには販売会社を設立いたしました。これらの新しい基盤を活用し、さらなる市場開拓を積極的に推進しています。このように、海外市場の地域や国ごとに合わせた商品開発や事業戦略を展開し、その国の文化や人材を取り込みながら、現地に根付いた活動を推し進め、現地対応力を高めてまいります。

2 | 地域別売上高と拠点

最適な商品・サービスを迅速・確実に行うため、ヨーロッパ、北米・中南米、アジアを網羅したグローバルネットワークを構築し、世界各地のお客様に密着した商品開発とサポートを展開しています。

中国

地域別売上高

22,672

百万円

<p>■生産拠点</p>  <p>喜開理(中国)有限公司(中国工場)</p>	<p>■販売拠点</p>  <p>喜開理(上海)機器有限公司</p>	 <p>台湾喜開理股份有限公司</p>
---	--	--

その他アジア

地域別売上高

16,653

百万円

<p>■生産拠点</p>  <p>CKD韓国(株)(韓国工場)</p>	 <p>M-CKD PRECISION SDN. BHD. (マレーシア工場)</p>	 <p>CKD THAI CO. LTD. (タイ工場)</p>
 <p>CKD INDIA PVT. LTD. (インド工場) ※インド工場の詳細はP44▶製造資本へ</p>	 <p>PT CKD MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア工場)</p>	

■販売拠点



CKD韓国(株)



M-CKD PRECISION SDN.BHD.



CKD SINGAPORE PTE. LTD.



CKD THAI CO. LTD.



CKD INDIA PVT. LTD.



PT CKD TRADING INDONESIA



CKD VIETNAM ENGINEERING CO. LTD.

その他海外(北米・中南米・欧州)



■生産拠点



CKD USA CORP.
(オースティン工場)



CKD EUROPE B.V.



CKD ITALIA S.R.L.



CKD USA CORP.



CKD MEXICO, S. DE R.L. DE C.V.

3 | グローバル人材育成 —海外トレーニー制度—

世界で活躍するグローバル人材を育成する取り組みとして、海外拠点へのトレーニー派遣制度を設けており、2023年度より再開しました。将来海外で活躍したい、海外現地法人と連携した企画に取り組みたい、自身のキャリアパスを上げたい社員へ機会を創出し、全社のグローバル意識を醸成します。

また、海外現地法人で働くスタッフが来日し、日本や日本本社への理解を深める「海外現地法人トレーニー制度」も設けています。

社員の声



機器営業統括部
海外第1営業部
加藤 実可子
研修先：
喜開理(上海)機器
有限公司

私は貿易業務を担当しており、CKD上海とは5年間WEB会議を通じて業務改善をしてきました。その中で、実際に現地スタッフと交流し、現地の業務やシステムを深く理解して合理的な改善方法を相談したと考え、より一層の改善には現地に赴く必要性を感じたため、本制度に申し込みました。

トレーニーでは、輸出申請業務の改善、新たな協定の運用方法構築と周知、CKD上海の基幹システムの勉強などを行いました。日本で行う自分の業務が海外での顧客満足につながっていることを実感することができました。また、何度も社内勉強会や説明会を実施し、報告の仕方や中国語のスキルアップができました。しかし、現地スタッフとの交流では、価値観の違いから苦勞することもありました。顧客訪問での質疑応答も難しく、業務の知識や中国語の専門用語が不足していると痛感しました。

今後はこの経験を活かし、日本の業務内容やその背景についてより深く理解していき、生産側と上海側の困りごとを双方に共有して顧客満足につなげたいです。現在はCKD上海の新しい営業担当者に対して勉強会を開催することも企画しています。

